

## 1 見直しの背景

- 平成21年度より、認知症の本人・家族等が認知症の疑いや不安が生じた時の相談先・受診先等を探す際の利便性向上を図ること等を目的に、「認知症サポート医名簿」と「東京都かかりつけ医認知症研修修了者名簿」を「とうきょう認知症ナビ」上で公開
- 今般、東京都における認知症サポート医の役割を明確化したことを踏まえて、「ナビ」上で公開する「**認知症サポート医名簿**」の掲載項目を充実させることで、**区市町村等が相談や施策への協力依頼等を円滑に行うことができるようにする。**
- 一方で、「東京都かかりつけ医認知症研修修了者名簿」については、公開時と比較して認知症医療の提供体制や連携体制が充実してきており、また、「ナビ」での閲覧ニーズも少ないことから、掲載を終了する。※区市町村への提供は継続して行う

## 2 認知症サポート医が対応できることの“見える化”（「認知症サポート医名簿」の掲載項目の充実）

### 方法

- 各認知症サポート医が“対応できること”について都へ報告し、**同意を得たうえで「とうきょう認知症ナビ」にて名簿とともに掲載**

### 回答項目

- ①主治医として関わる患者について、地域包括支援センター等からの相談に応じ、助言と支援を行えるか
- ②主治医として関わる患者以外の方について、地域包括支援センターからの相談に応じ、助言と支援を行えるか
- ③地元の初期集中支援チームに参加できるか
- ④地元で行われている認知症検診事業に参加できるか
- ⑤地元の認知症カフェの本人や家族を対象とした取組に参加できるか
- ⑥住民向け講演会や専門職向け研修に講師として協力できるか

### 活用方法

- **区市町村や認知症疾患医療センター、認知症の人や家族・介護者の支援に取組む関係機関等も閲覧できるよう「とうきょう認知症ナビ」で公開**

- 都における認知症サポート医の役割に即した項目であることから、「認知症サポート医等フォローアップ研修」の効果測定としても活用

※「とうきょう認知症ナビ」での公開イメージ

凡例：◎…既に対応（参加）している、○…対応（参加）できる

現在の名簿				追加項目				
氏名	医療機関名	医療機関所在地	医療機関連絡先	主治医として関わっていない場合でも地域包括支援センターからの相談に対応	初期集中支援チーム	認知症検診	認知症カフェ	研修や講演会の講師
都庁 太郎	○○診療所	●●区●●町123番地	03-1234-5678	○	◎		○	○